

なんの花かな？



答え:もも



もも（桃）

ヒント 1	昔話にも登場する、古くから親しまれている果物です。
ヒント 2	3月3日のひな祭りに供える花です。
ヒント 3	江戸時代の町人の娘に流行した髪型の名前についています。（桃割れ）
主な生産地	小牧市、豊田市、犬山市、春日井市
旬	6月下旬～8月
全国生産量順位 （全国シェア）	8位（1.7%）平成25年産データ
特徴	<p>ももは、バラ科桃属の木になる果実で中国が原産。葉が出る前に花を咲かせる。花の色は淡い桃色だが、白から濃い桃色までバリエーションがある。花びらの数も一重咲きの5枚のものから八重咲きのものがあり、3月下旬から4月頃に咲く。花の大きさは3～4cmで、雄しべがたくさんある。</p> <p>ももは、古事記や万葉集に記述があり、昔話の「桃太郎」にも登場するように、古くから親しまれている。現在栽培されているのは、明治時代にヨーロッパや中国から入った桃を品種改良したもの。白桃は大正時代に栽培され始め、愛知県では白鳳という品種が最も多く栽培されており、他にも日川白鳳、川中白鳳、黄金桃、ゴールデンピーチなど品種を変えながら6～8月まで収穫される。</p>
代表的な料理・食べ方	ももは、冷やしすぎると味が落ちるので、食べる前に1～2時間程度冷蔵庫で冷やすとよい。生食以外にもジャムやタルトにしてもおいしい。また、ピューレにして、ムースやシャーベットにも適している。
栄養・効能	ももは、食物繊維やカリウムが含まれるので腸の働きを整えたり、血圧を下げる効果がある。